

令和2年度

「就職氷河期世代を対象とした
教職に関するリカレント教育プログラム事業」
成果報告書

令和3年3月

滋賀大学

概要

本学では、就職氷河期世代の教職への就業支援のため、双方向性も取り入れたオンライン講習のみで免許状の更新(回復)をさせるプログラムを整備した。今年度は、必修領域として2講習、選択必修領域として6講習、選択領域として16講習を提供し、認定試験を含めてオンラインのみで免許状を回復させることのできる環境を整えた。その結果、同種の事業中でトップとなる104名の受講生(うち減免対象者80名、講習完了者97名)の申し込みがあった。

R3年度以降には、対面講習や就職支援も計画しており、実技やアクティブラーニング、ICT、教育データサイエンスの最新技能を獲得させ、教員養成についての支援を行い、教職大学院進学等にもつなげる。

実施内容の詳細

オンライン講習の対象者

次の図1に示す要件を受講資格として設定し、図2のような減免条件を設けた。

【受講資格】
<ul style="list-style-type: none">● 過去に教員免許状を取得したが、令和2年9月30日時点において失効している方または更新手続きをせず修了確認期限を経過した方● 令和2年9月30日時点において、35歳以上55歳未満の方● 教員採用倍率が高く採用に至らず、教職への道を諦めざるを得なかった方● 令和2年度のオンライン講習を受講・修了した後、教員採用試験を受験するまたは、臨時的任用リストへ登録する意思があることを書面で確認できる方● Webカメラを使用できるパソコン、プリンター、ネットワーク環境をお持ちの方

図1 受講資格について。募集要項より抜粋。

➤ 減免条件
次の1～4の要件をすべて満たすことを書面で確認でき、本学の講習において更新手続きに必要な30時間の講習を受講・修了する予定のある方
1. 過去に教員免許状を取得したが、令和2年9月30日時点において失効している方、または更新手続きをせず修了確認期限を経過した方
2. 令和2年9月30日の時点において、35歳以上55歳未満の方
3. 令和2年9月30日から起算して過去1年間正社員として雇用されていない方、かつ、令和2年9月30日から起算して直近5年間に正社員としての雇用期間が通算一年以下の方や、概ね一年以上の間に臨時的・短期的な就業を繰り返す、あるいは臨時的・短期的な就業と失業状態を繰り返すなど不安定就労の期間が長い方、非正規雇用の就業経験が多い、あるいは就職後の就業期間が短いなど安定した就労の経験が乏しい方
4. 令和2年度のオンライン講習を受講・修了した後、教員採用試験を受験するまたは、臨時的任用リストへ登録する意思があることを書面で確認できる方

図2 減免条件について。募集要項より抜粋。

オンライン講習の整備

講習から試験までを全てオンラインで完了できることを目指して仕様策定を行い、基盤システムを選定した(4月～7月)。オンデマンド教材ならびに認定試験を作成し、動作確認とシステム更新を行なった(7～8月)。教材については全て二重チェックを行なって、適宜修正を行なった(7～9月)。また、受講生からのフィードバックを元にして資料の更新を行なった(1月)。試験運用のうちに、講習を実施した(10月～3月)。

講習一覧

〈必修領域〉 教育の最新事情

※必修領域の講習は、6時間(abcdの内容事項を全て)受講して1講習です。

コード番号	講座名	内容事項	担当講師	対象職種	主な受講対象者(学校種)	講習時間	開講形態 認定試験
A-1	教育の最新事情	a. 国の教育政策や世界の教育の動向	山田 千明	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼・特別支援学校(幼)	6時間	①
		b. 教員としての子ども観、教育観等についての省察	藤村 祐子				択一式
		c. 子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む。)	渡部 雅之				①
A-2		d. 子どもの生活の変化を踏まえた課題	今井 弘樹	小・中・高・特別支援学校(小中高)	6時間	① 択一式	
			中井 清津子				

〈選択必修領域〉 今日的教育課題

- ・「主な受講対象者」以外の方も、「対象職種」が合致していれば、受講することができます。
- ・ホームページの講習詳細情報で講義内容をご確認のうえ、お申し込みください。
- ・対象職種：「養教」は養護教諭、「栄教」は栄養教諭

※選択必修領域の講習は、同一コード番号の講習を6時間受講して1講習です。

コード番号	講習の名称	担当講師	対象職種	主な受講対象者(学校種)	講習時間	開講形態 認定試験
B-2	幼児期の教育実践 —指導計画と領域の概念—	金森 由華	教諭 養教・栄教	幼・特別支援学校	6時間	① 択一式
B-3	学校をめぐる近年の状況変化と新たな課題	濱 貴子 太田 拓紀	教諭 養教・栄教	小・中・高・特別支援学校	6時間	① 択一式
B-4	「特別の教科 道徳」の指導と評価の具体的展開 —子どもたち一人一人をリスペクトする道徳教育の確立—	押谷 由夫	教諭 養教・栄教	小・中・特別支援学校	6時間	① 択一式
B-5	教育理念を共有しながら進める学校(園)と家庭及び地域社会との連携・協働のあり方	小野 清司 中井 清津子	教諭 養教・栄教	幼・小・特別支援学校	6時間	① 択一式
B-8	キャリア教育の実践と進路指導	若松 養亮	教諭 養教・栄教	中・高・特別支援学校	6時間	① 択一式
B-9	心のバリアフリーと学校における交流と共同学習の推進	田村 靖二	教諭 養教・栄教	幼・小・中・高・特別支援学校	6時間	① 択一式

図3 必修領域および選択必修領域の講習一覧。募集要項より抜粋。

<選択領域> 教科指導及び生徒指導その他教育の充実に関する事項

・「主な受講対象者」以外の方も、「対象職種」が合致していれば、受講することができます。
 ・ホームページの講習詳細情報で講義内容をご確認のうえ、お申し込みください。

※選択領域の講習は、同一コード番号の講習を6時間（1日分）受講して1講習です。

コード番号	講習の名称	担当講師	対象職種	主な受講対象者	講習時間	開講形態 認定試験
C	幼児期における食育	原 知 子 ※1 前 川 頼 子	教諭	幼稚園教諭	6時間	① 択一式
D-1	特別支援教育 I	江 原 寛 昭 羽 山 裕 子	教諭・ 養護教諭	幼・小・中・高・ 特別支援学校教諭、養護教諭	6時間	① 択一式
D-2	心と身体の健康 I	股 村 美 里 ※2 多 賀 谷 智 子 ※2	教諭・ 養護教諭	幼・小・中・高・ 特別支援学校教諭、養護教諭	6時間	① 択一式
D-7	日本の漢詩と和歌	二 宮 美 那 子 井ノ口 史	教諭	中・高等学校教諭	6時間	① 択一式
E-1	特別支援教育 II	窪 田 知 子 川 島 民 子	教諭・ 養護教諭	幼・小・中・高・ 特別支援学校教諭、養護教諭	6時間	① 択一式
E-2	保健と体育の今日的課題に対応した指導力を考える	川 合 英 之 ※2 大 西 祐 司 ※2	教諭	幼・小・中・高・ 特別支援学校教諭	6時間	① 択一式
E-5	資料・データを読む	馬 場 義 弘 宮 本 結 佳	教諭	中・高等学校教諭	6時間	① 択一式
F-1	心と身体の健康 II	大 平 雅 子 野 澤 正 寛 久保田 泰 考	教諭・ 養護教諭	幼・小・中・高・ 特別支援学校教諭、養護教諭	6時間	① 択一式
F-2	国際理解教育	滝 井 未 来	教諭	幼・小・中・高・ 特別支援学校教諭	6時間	① 択一式
F-3	安全で効果的な体育授業の指導について	高 松 靖 ※2 黒 澤 寛 己 ※2	教諭	幼・小・中・高・ 特別支援学校教諭	6時間	① 択一式
F-4	体験的環境学習への招待	石 川 俊 之 森 太 郎	教諭	小・中・高・ 特別支援学校教諭	6時間	① 択一式
F-5	社会科の授業づくりへのヒントー「表現」に着目してー	安 藤 哲 郎 齋 藤 浩 文	教諭	小学校教諭	6時間	① 択一式
F-8	コンピュータを使ったデータ処理・分析の基礎	岩 山 幸 治 齋 藤 邦 彦	教諭	中・高等学校教諭	6時間	① 択一式
G	国際理解教育と多文化共生	永 久 欣 也 ※1 深 尾 秀 一 ※1	教諭・ 養護教諭	幼・小・特別支援学校教諭、 養護教諭	6時間	① 択一式
H	子どものくらしを考える	松 木 宏 史 ※1	教諭・ 養護教諭	幼・小・特別支援学校教諭、 養護教諭	6時間	① 択一式
J	身近な現象から学ぶ科学	徳 田 陽 明	教諭	小・中・高等学校教諭	6時間	② 記述式

※1: 滋賀短期大学（連携大学）

※2: びわこ成蹊スポーツ大学（連携大学）

※上表の「開講形態」について：①オンデマンド配信

②リアルタイム配信（開講日 令和3年3月7日）

図 4 選択領域の講習一覧。募集要項より抜粋。

オンライン講習

全国どこからでも、いつでも受講できることを目的とし、オンデマンド教材ならびにオンライン試験を用意した。そのコンテンツの一例を図5に示す。これらのコンテンツは受講生の負担軽減のため、小分けにしたものを用意した。また、受講中の学習状況をラーニング・アナリティクスにより監視し、取り組み具合に応じて適宜アナウンスを行い、学修完了するように促した。また、受講状況より、現職教員と比較して、繰り返してコンテンツを視聴する、試験準備を入念に行なっている様子が伺えた。後述するように受講後アンケートからも、積極的に取り組んでいる様子が伺えた。



図5 動画コンテンツの例

受講者の属性

受講生の年代は40代が6割以上を占めており、直近5年間の就労状況については、無職または不安定就労のものが8割近くに達している(表1)。本事業のメインターゲットである不安定就労を繰り返している就職氷河期世代のニーズにマッチしていたと考えられる。また、受講者の居住地は北海道から九州までとほぼ全国からなっており、いつでもどこでも受講できるオンライン講習ならではの効果があったと考えた。所持免許の学校種は中一種、高一種が多く、教科は社会と英語が多かった。このような免許状をもった多様な人材が学校現場で活躍できる一助となると考えた。

また、受講者数は104名(うち減免対象者80名)に達しており、同種の事業の中で受講者は最大であった。これは、受講者数の上限を設けなかったこと、申し込み期間が長かったこと、後に示す広報の効果があったことなどが考えられる。また、受講完了者数は97名であり、受講しやすかったことが効果的だったと考えられる。また、修了後に採用試験を受験しようとする者24名、講師登録94名(重複あり)となっており、リカレント教育に大きく貢献したことがわかる。

表1 受講者の属性について

1. 免許状の職種別

免許種	申込数	認定数
教諭	99	97
養護教諭	4	2
栄養教諭	1	1
計	104	100

2. 年代

年代	人数
30歳代	15
40歳代	70
50歳代	19
計	104

3. 性別

性別	人数
男性	11
女性	93
計	104

4. 直近5年の就労状況

	人数
無職	15
不安定就労	67
正規雇用あり	22

5. 所持免許状の種類

略称	所持数	計
幼専修	1	22
幼一種	12	
幼二種	9	
小専修	2	26
小一種	20	
小二種	4	
中専修	4	71
中一種	59	
中二種	8	
高専修	5	75
高一種	70	
高二種	0	
養専修	0	4
養一種	1	
養二種	3	
采専修	0	1
采一種	0	
采二種	1	
特支専修	1	9
特支一種	6	
特支二種	2	

教科	所持数	計
中(国語)	12	71
中(数学)	3	
中(理科)	3	
中(社会)	17	
中(英語)	11	
中(中国語)	1	
中(家庭)	5	
中(技術)	1	
中(音楽)	6	
中(美術)	2	
中(保健体育)	10	

教科	所持数	計
高(国語)	10	75
高(書道)	2	
高(数学)	3	
高(理科)	4	
高(地理歴史)	12	
高(公民)	9	
高(英語)	10	
高(中国語)	1	
高(家庭)	1	
高(情報)	3	
高(工業)	2	
高(音楽)	4	
高(美術)	2	
高(工芸)	1	
高(保健体育)	10	
高(職業指導)	1	

6. 修了後の予定

種類	申出数
採用試験の受験	24
講師登録	94
計	118

※両方に申し出た方: 14名

広報活動

講習募集期間中に、チラシおよび募集要項を全国の職業安定所 559 箇所、全国の教育委員会 1,424 箇所、近畿圏の学校園 5,230 箇所へ送付した(図 6, 8, 9, 10)。また、全国対象の Web 広告を行って、373 万回表示、9,270 クリックの実績があった。西日本地区での新聞広告(210 万部)を掲載した(図 7)。当初予定していた成果報告会はコロナ禍のため、実施を断念した。

1. 募集要項及びチラシの配付				(単位:箇所)
送付先	1回目 R2年10月末			2回目 R3年2月10日
	職業安定所 (47都道府県)	教育委員会 (近畿の7県教育委員会)	学校・園 (近畿の7県の学校園)	教育委員会 (近畿を除く29県教育委員会)
小計	559	224	5,230	1,200
合計	6,013			1,200
総合計	7,213			

2. Web広告
-掲載期間:令和2年11月~令和3年1月末

3. 新聞広告
-読売新聞 大阪本社版
-テレビ面 左突出し カラー 1枠
-掲載日:令和3年2月8日(月)

図 6 広報の詳細について。チラシ配布, Web 広告, 新聞広告

**就職氷河期世代のための
学校教員養成事業**

いわゆる就職氷河期に、教員免許状を取得したものの
教職への道を諦めざるを得なかった方々が、
教職へ就業できるよう支援するための講習を提供します。

滋賀大学教員免許状更新講習(オンライン講習)を利用します

- ◆**募集期間** **現在募集中!** ~令和3年2月28日
- ◆**開講期間** **現在開講中!** ~令和3年3月10日
- ◆**受講料** 1講習:3,000円
※減免条件を満たした場合:無料(HPIに記載)
- ◆**受講資格** 令和2年9月30日時点で35歳以上55歳未満かつ
教員免許状が失効している方
※その他、HPでご確認下さい。

◎オンライン講習
のみで教員免許状を
更新(回復)可能!

◎学校教育において
注目のデータサイエンスに
関する講習も開講中!

※本事業は文部科学省の委託事業として実施します
.....お問い合わせ先.....
滋賀大学教員免許状更新講習事務局
TEL: 077-537-0320 E-mail: koushin@edu.shiga-u.ac.jp

図 7 新聞広告の掲載デザイン

就職氷河期世代のための 学校教員養成事業の ご案内



～滋賀大学では教職につかなくてもつけなかった就職氷河期世代の方々が
教職へ就業できるよう支援するための講習を提供します～

特徴

- ◇オンライン講習のみで教員免許状を更新（回復）できます
 - ・講習の申し込みから試験まで全てオンラインで受講できます
- ◇申し込み期間が長く、定員は無制限です
 - ・募集期間は令和2年10月1日～令和3年2月28日です
 - ・オンライン講習の人数制限はありません
- ◇オンライン講習を受講した後に、対面講習を追加で受講できます
 - ・減免条件を満たせば、すべて無料で受講できます
- ◇教員養成についての支援を受けられます
 - ・小論文・面接等の指導を受けることができます
 - ・科学イベント等での児童・生徒の指導を体験できます
 - ・教員採用についての相談の機会も提供します
- ◇データサイエンスに関する知識・技能を身につけることができます
 - ・教育分野におけるデータサイエンスの知識・技能を習得することができます

概要

募集期間	令和2年10月 1日 ～ 令和3年2月28日
講習期間	令和2年11月16日 ～ 令和3年3月10日
募集人数	オンライン講習には人数制限はありません。 次年度以降の対面講習については抽選を行います。 教員採用試験に関する支援についての人数制限はありません。
受講料	1講習 3,000円 教員免許状更新手続きに必要な30時間分(5講習)を受講する場合は 15,000円 減免条件を満たせば無料となります。
受講方法	滋賀大学教員免許状更新講習（オンライン講習）を利用します。

◆本事業は文部科学省の「就職氷河期世代を対象とした教職に関するリカレント教育プログラム事業」の委託事業として実施します。

お問い合わせ



滋賀大学

教員免許状更新講習事務局

☎ 077-537-0320 ✉ koushin@edu.shiga-u.ac.jp

https://www.shiga-u.ac.jp/research_cooperation/seminar/teacherrecurrent/



図 8 配布したチラシのデザイン

就職氷河期世代のための

学校教員養成事業

受講者募集要項

- * 募集期間 令和 2 年 10 月 1 日 ~ 令和 3 年 2 月 28 日
- * 講習期間 令和 2 年 11 月 16 日 ~ 令和 3 年 3 月 10 日
- * 募集定員 令和 2 年度オンライン講習の定員はありません。
- * 受講料 1 講習 : 3,000 円
※更新手続きに必要な 5 講習を受講の場合 : 15,000 円
※減免条件を満たした場合 : 無料

(減免条件の詳細は、募集要項の 3 頁でご確認ください。)



本事業は文部科学省の委託事業「就職氷河期世代を対象とした教職に関するリカレント教育プログラム事業」の更新講習型プログラムとして実施します。

図 9 募集要項の表紙デザイン

就職氷河期世代のための学校教員養成事業

【概要】

いわゆる就職氷河期には、教員免許状を取得したものの、教職への道を諦めざるを得なかった方々がいます。本学では、このような就職氷河期世代の方々が教職へ就業できるよう支援するための講習を提供します。この事業は、文部科学省の委託事業として実施します。

【特徴】

- オンライン講習のみで更新手続きに必要な講習を受講・修了することができます。
講習の申込から認定試験まで全てオンラインで受講・受験が可能です。
- 申込期間が長く、定員は無制限です。
募集期間は令和2年10月1日～令和3年2月28日です。
オンライン講習の人数制限はありません。
- 令和2年度のオンライン講習を受講・修了した後、令和3年度の対面講習を追加で受講することができます。
減免条件を満たせば、すべて無料で受講できます。
- 教員養成に関する次の支援を受けることができます。
小論文や面接等の指導
科学イベント等での児童・生徒への指導体験
教員採用についての相談の機会
- データサイエンスに関する知識・技能を身につけることができます。
教育分野におけるデータサイエンスの知識・技能を習得することができます。

【受講資格】

- 過去に教員免許状を取得したが、令和2年9月30日時点において失効している方または更新手続きをせず修了確認期限を経過した方
- 令和2年9月30日時点において、35歳以上55歳未満の方
- 教員採用倍率が高く採用に至らず、教職への道を諦めざるを得なかった方
- 令和2年度のオンライン講習を受講・修了した後、教員採用試験を受験するまたは、臨時的任用リストへ登録する意思があることを書面で確認できる方
- Webカメラを使用できるパソコン、プリンター、ネットワーク環境をお持ちの方

【受講料】

- 1講習：3,000円（教員免許状更新講習の受講料）
※更新手続きに必要な30時間（5講習）を受講する場合は、15,000円になります。
ただし、次の減免条件をすべて満たす場合は、無料になります。

受講生アンケート

受講を完了したものに対して図 11 のようなアンケートを実施した。

免許状更新講習受講者評価書

本評価は今後の免許状更新講習の改善と更新講習に関する情報提供のために行われるものであり、あなたの履修認定に係る評価には一切影響を与えません。

* それぞれの質問項目について、以下の基準で評価してください。

- 4 : よい……………十分満足した、十分成果を得られた
 3 : だいたいよい……………満足した、成果を得られた
 2 : あまり十分でない……………あまり満足しなかった、あまり成果を得られなかった
 1 : 不十分……………満足しなかった、成果を得られなかった

I	<p>本講習の内容・方法について、下記の視点を踏まえて総合的に評価してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校現場が直面する諸状況や教員の課題意識を反映して行われていた。 ・ 講習のねらいや到達目標が明確であり、講習内容はそれらに即したものであった。 ・ 受講生の学習意欲がわくような工夫をしていた。 ・ 適切な要約やポイントの指摘等がなされ、説明が分かりやすかった。 ・ 配付資料等使用した教材は適切であった。 				
	<p>総合的な評価</p> <p>※該当する番号を選択してください。</p>	4	3	2	1
II	<p>本講習を受講したあなたの最新の知識・技能の修得の成果について、下記の視点を踏まえて総合的に評価してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職生活を振り返るとともに、教職への意欲の再喚起、新たな気持ちでの取り組みへの契機となった。 ・ 教育を巡る様々な状況、幅広い視野、全国的な動向等を修得することができた。 ・ 各教育活動に係る学問分野の最新の研究動向、これまでの研修等では得られなかった理え方・指導法や技術等を学ぶことができ、今後の教職生活の中での活用や自らの研修での継続した学習が見込まれる。 ・ 受講前よりも講習内容への興味が深まり、教員としての知識技能の厚みや多様さを増す一助となった。 				
	<p>総合的な評価</p> <p>※該当する番号を選択してください。</p>	4	3	2	1
III	<p>本講習の運営面についての評価</p> <p>申請システム、受講システム、連絡、等</p> <p>※該当する番号を選択してください。</p>	4	3	2	1

図 11 受講生へのアンケート(択一式)

◎ご意見等がありましたら、該当箇所にご記入ください。特にない場合は、空欄でも構いません。

図 11(続き)受講生へのアンケート(自由記述)

アンケート結果

図 11 のようなアンケートを実施したところ、回答率 98%以上で回答が得られた。この報告書においては、全ての講習を集約した結果のみを示すこととする(表 2)。

表 2 受講生へのアンケートの結果のまとめ

講習の種類	受講者数	回答数	回答率	設問 I ~ III				
				4	3	2	1	計
必修講習	101	99	98.0%	154	129	11	3	297
				51.9%	43.4%	3.7%	1.0%	100%
選択必修講習	99	98	99.0%	166	121	4	3	294
				56.5%	41.2%	1.4%	1.0%	100%
選択講習	297	295	99.3%	500	328	44	13	885
				56.5%	37.1%	5.0%	1.5%	100%
全体	497	492	99.0%	820	578	59	19	1,476
				55.6%	39.2%	4.0%	1.3%	100%

※小数点第1位で四捨五入しているため、各評価の計は100%にならない場合を含む。

このアンケート結果より、高評価(3と4)がいずれの講習においても93%以上となっており、低評価(1と2)に比べ、非常に多いことがわかった。また、自由記述アンケートからも「知識のアップデートに役立った」「とても整理されておりわかりやすかった」「目標が分かりやすく、理解しやすかった」「いつでもどこでも学習できて良かった」等の高評価があった一方で、動画の編集の質に関する指摘や、認定問題の難易度についての低評価があった。次年度は、高評価を維持しつつ、低評価についての改善を行う予定である。

また、免許状更新の完了者から、講師登録を行ったところ複数の引き合いがあったとの連絡も受けており、本事業が就職氷河期世代のリカレントに役立っていることがわかった。

まとめ

本年度は、必修領域として2講習、選択必修領域として6講習、選択領域として16講習を提供し、オンラインのみで免許状を回復させることのできる環境を整えた。受講状況をラーニングアナリティクスにより監視したところ、本学が実施している通常の免許状更新講習の受講者と比較して、熱心に課題に取り組んでいる様子が伺えた。受講生アンケートによると、どの領域でも高評価が93%以上となっており、自由記述からもオンライン講習に対しての好意的な意見が多くみられた。その一方で、動画の編集の質等についての低い評価も一部存在したので、次年度以降の事業運営に反映する予定である。

また、滋賀大学では、同種の事業中でトップとなる104名の受講生(うち減免対象者80名)の申し込みがあった。受講から試験までをいつでもどこでも受講できる環境を提供できたこと、受講申し込み定員に制限を設けなかったこと、受講受付期間が長かったこと、広報に積極的に取り組んだこと、などが理由と考えられる。また、講習完了者は97名に達しており、オンラインであるために受講しやすかったことが効果的だったと考えられる。また、修了後に採用試験を受験しようとする者24名、講師登録94名(重複あり)となっており、本事業がリカレント教育に大きく貢献したということがわかった。

令和3年度には、講習の質の向上を行った上で、オンライン講習を引き続き提供するとともに、教員採用試験に関する支援事業を実施し、一人でも多くの受講者を教育現場へ送り込むことを目指す。

令和3年3月31日 発行

令和2年度「就職氷河期世代を対象とした教職に関するリカレント教育プログラム事業」成果報告書

編集・発行:

国立大学法人 滋賀大学

滋賀県彦根市馬場1丁目1-1